

平成24年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

法文学部 国際言語文化学科 英語文化専攻（昼間主コース）

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

情報化社会の発達により、世界がグローバル化し、遠隔地の情報も容易に手に入れることができるようになった。その一方で私たち自身も世界に情報を発信することができるようになった。このことについては様々な議論がある。あなたが情報化社会の発達を実感できる事例を取り上げ、情報化社会の発達が異文化接触に与える影響について、1000字以上、1200字以内で論じなさい。

平成24年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

法文学部 国際言語文化学科 英語文化専攻（昼間主コース）

出題の意図

国際言語文化学科、英語文化専攻は、豊かな国際感覚と言語運用能力に加え、文化を歴史・言語・文学の面から探求し、自らの文化と異文化との有機的・総合的な理解力を身につけることを目指している。したがって、この専攻への入学希望者には、国際社会の動向に意識を向け、国内外で起こっていることを、その根底にある文化的・社会的・歴史的背景をふまえ、幅広い視野と見識で自分なりの解釈ができる能力が求められる。この小論文は、受験生が、そのような視野や見識をもって世界に対してどうか、また、提示された問題を議論する論理力・表現力を有しているかどうかを見ようとするものである。